

# 風そよぐ

校訓：かしこく やさしく あかるく つよく

令和 2年 1月30日 (木)

南関町立南関第四小学校 学校便り

No. 1 1

文責：坂本 隆文

## 「燃え上がれ！四小魂！！」

今年もPTAや地域の皆様方、消防団の皆様方のご協力により、どんどやを実施していただきました。1月18日(土)は、すばらしい晴天となりました。事前に稲わらの確保やかずら取りなどの作業もしていただいていた。また、バザーの物品提供や豚汁・しし汁のための野菜の提供などもお願いしてあり、たくさんのご協力を得ることができました。



当日は、豚汁・しし汁・ぜ

んざいの料理、5年生のおにぎり作り、低学年への読み聞かせ、竹の切り出しなど、それぞれの担当に分かれて準備作業がありました。どんどやのやぐら組みでは、例年通り立山さんと中村さんをリーダーに、組み上げられていきました。



本多さんのユニック車のクレーンで4本組まれた竹を引っ張り上げるなど、大がかりな作業でした。子どもたちも、竹を運んだりわらを竹に挟み込んだりする作業を行いました。皆さんのおかげで、立派なやぐらが完成しました。



その後、もぐら打ちの体験を行いました。もぐら打ちの道具は、荒木さん、原口さん、春野さん、木下さんの中



心に作成していただきました。子どもたちは、カー杯運動場をたたいていました。

その次は、手押し消防ポンプの体験です。子どもたちが力を合わせてポンプをこぐと、筒先から水が勢よく放



水されました。最後には、消防団の皆様が手本を見せてくださいました。子どもたちの3倍ほどの高さまで水が届いていました。さすがでした。



そして、いよいよやぐらへの点火です。6年生が火をつけると、火は全体に燃え広がり、青空に向かって燃え上がっていきました。やぐらのてっぺんにつけていた吉書には、願いを込めて本校の校訓「かしこく やさしく あかるく つよく」と書きました。その吉書は、ものすごい上昇気流に乗って、見えなくなるくらい高く高く昇っていきました。子どもたちが書いた吉書は、強風のため飛ばすまでが大変でしたが、同じように高く上がっていきました。



バザー開始と同時に、物品バザーや食バザー



には行列ができていました。どれもとても安く、おいしいと大好評でした。火の勢いが収まってから、持ってきたお餅を工夫して焼かれていました。

そして、最後の最後には、燃えてしまった灰、燃え残った竹、まわりに飛び散ったわらや竹の葉っぱなどを集めて一輪車で運んでいただきました。運動場は、何事もなかったかのように元の状態にしていただきました。



計画・準備の段階から、当日の準備・作業、そして最後の後片付けまで、たくさんの皆様のご協力をいただきました。地域の皆様、消防団、本校OBの皆様、現役保護者の皆様、児童、本校職員、皆さんの力でこの地域伝統行事であるどんどやができました。まさに「四小魂」が燃え上がった行事だと感じました。

今年1年が、きっとすばらしいものになると確信しました。ありがとうございました。